

ご挨拶

紅葉の候 ますます ご健勝にお過ごしのことと存じます

さて、本来ならば令和2年度定期総会は5月に開催すべきでありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を延期し、9月開催を予定していましたが、しかしながら、未だに新型コロナウイルス感染症拡大が沈静化する気配を見せません。このため、令和2年度定期総会はメールによる書面審議とさせていただきます。

銅像建立寄付金の募集は令和2年6月30日で終了しました。寄付金は個人が878人で3,424,300円、企業・団体は168社で11,666,000円、合計15,090,300円となり、指定寄付金10,500,000円を大きく上回りました。指定寄付金を超えた寄付金については佐川町に寄贈することとしています。

募金活動や寄付をしていただきました会員、協賛企業の皆様に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

平成2年3月に開催した第3回幹事会で「廣井勇を顕彰する会は銅像建立後に解散し、その後の活動については佐川町を主体とした組織を立ちあげる方向で検討する」ことを決議しております。この件も含め、ご審議をよろしく申し上げます。

令和2年11月 吉日

廣井勇を顕彰する会 会長 岡村 甫

議事次第

第1号議案	令和元年度事業報告
第2号議案	令和元年度収支決算報告
第3号議案	令和元年度会計監査報告
第4号議案	令和2年度事業計画（案）
第5号議案	令和2年度事業予算（案）
第6号議案	令和2年度新役員選出
そ の 他	

第 1 号議案 令和元年度事業報告

① 令和元年度総会

開催日 令和元年 5 月 23 日

会 場 セリーズ

1 周年記念講演会 「土木技術者 廣井勇をいかに伝えるか」銅像制作者 大野良一先生
廣井勇の功績調査報告 「佐川が生んだ廣井勇の功績を訪ねて」 幹事 安田 省治
総会

交流会 参加者：68 人

② 幹事会開催

第 1 回 8 月 5 日、第 2 回 12 月 17 日、第 3 回 3 月 23 日

③ 銅像建立寄附金の募金（令和元年 7 月 1 日～令和 2 年 6 月末日）

令和 2 年 3 月末日までの寄附金総額 13,055,300 円

④ 小樽港及び北海道大学調査（7 月 28 日～30 日）

堀見副会長、大野良一先生他 8 名

⑤ 廣井家の墓地清掃（9 月 24 日）

⑥ 日本技術士会全国大会(徳島)へパネル出典(10 月 5 日～6 日)

⑦ 高知県正昭会で、安田幹事が講演「郷土の誇る近代土木の先駆者廣井勇」（10 月 12 日）

⑧ 高知土木技士冬号（令和 2 年 1 月号）へ川崎聡明監査が「廣井勇との出会い」投稿

⑨ 雑誌「港湾」（令和 2 年 9 月号）に銅像建立寄附のお願いを掲載

第 2 号議案 令和元年度収支決算報告

(1) 一般会計

収入の部

項 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰越金	758,291	758,291	
入会費	50,000	43,000	1,000×40名、3,000×1名
団体協賛金	0	10,000	1社 10,000円
四国クリエイト協会 助成事業	331,000	331,000	記念講演会
交流会費	360,000	402,000	参加者負担（発表者除く）
北海道視察旅行保険代	0	5,000	500円×10名分
執筆費	0	8,000	情報誌「港湾」掲載（株）ウェイツ
受取利息	0	3	
合 計	1,499,291	1,557,294	

支出の部

項目	予算額	決算額	備考	
理事会 講演会 定期総会	理事会会場費	—	4,320	バツハ 0.5hr
	総会会場費	68,000	17,280	レインボーホール 1hr
	講演会会場費等	331,000	173,080	会場費、備品等
	講演会パンフレット	—	9,591	
	講師謝礼	—	50,000	大野良一先生支払分
	小 計	399,000	254,271	
交流会	飲食代	—	402,000	参加者 6,000円×67名
	飲食代	—	6,000	発表者 1名分は本会計より拠出
	看板代	—	21,600	
	小 計	360,000	429,600	
広報用パ			52,132	6,000部
顕彰する会広報用				

シフレッ ト	北海道視察報告誌		17,820	500部
	小計	100,000	69,952	
日本技術 士会 全国大会 協賛等	協賛広告料		50,000	
	写真代		6,804	
	パネル製作代		8,035	
	小計		64,839	
会員証		750	0	昨年作成分を繰り越し
ホームページ管理費		29,000	30,600	
北海道視 察関連	胸像制作者旅費	150,000	144,000	大野先生旅費として
	旅行保険代	0	5,000	500×10名
	小計	150,000	149,000	
会議費		60,000	47,310	幹事会会場費(2hr)×2回
雑費	封筒代		17,582	封筒1,000枚
	書籍購入費		2,000	文芸はた 1,000×2冊
	通信費		24,522	切手、レターパック
	収入印紙代		10,000	大野先生契約書
	供花代		16,500	清水理事葬儀における供花
	事務用品費		1,836	ゴム印
	お土産代等		16,200	北海道視察時、大野氏訪問時
	振込手数料		1,308	
	小計	100,000	89,948	
計		1,198,750	1,135,520	
次年度繰越		300,541	421,774	
合計		1,499,291	1,557,294	

(参考資料)令和元年度総会決算

項 目	数 量	単 価	金 額	備 考
【理事会】				
会場代	1		4,320	1 F バッハ
【総会】				
会場代	1		17,280	3 F レインボーホール
【講演会】				
記念講演会場	1		86,400	3 F レインボーホール
つば花	1		10,000	
マイク	4		5,400	サービス
ステージ	4	1,080	4,320	
プロジェクター	1	10,800	10,800	
スクリーン	1	1,080	1,080	
看 板	1	32,400	32,400	
垂れ幕	1	10,800	10,800	
講師控え室	1		11,880	3 F 松竹
講演会案内チラシ	3000		9,591	ラクスル
講師謝礼	1		50,000	大野先生講演謝礼
【交流会】				
会場代			0	3 F マリンホール
宴会料理・飲み物	68	6,000	408,000	参加者より徴収
看 板	1	21,600	21,600	
合 計			683,871	

(2) 特別会計(銅像建立寄付金)

収入の部

項目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	—	0	
寄附金／企業・団体	—	9,966,000	162者
寄附金／個人	—	1,279,000	71名
奉加帳	—	1,810,300	793名
受取利息	—	17	四国銀行／高知銀行
合計		13,055,317	

支出の部


項目	予算額	決算額	備考
銅像初回支払金	—	3,000,000	大野良一様初回分
印刷代	—	95,040	趣意書、領収書、奉加帳他
通信費	—	22,306	切手代他
振込手数料	—	880	
計	—	3,118,226	
次年度繰越	—	9,937,091	
合計	—	13,055,317	


第3号議案 令和元年度 会計監査報告

令和元年度 廣井勇を顕彰する会 会計監査報告書

令和元年度廣井勇を顕彰する会 会計決算について監査を実施した結果、収入・支出とも正確に記帳整理されており、諸帳簿及び証拠書類等の保管も完全であることを認めます。

令和2年 4月 17日

監査 濱田陽治 

監査 川崎聡明 

第4号議案 令和2年度事業計画(案)

- ① 令和2年6月中にフェイスブックを開設し、廣井勇に関する情報発信する。
- ② 令和2年度定期総会は11月中にメールで開催し、書面決議とする。
- ③ 令和3年1月に銅像除幕式等の案内状を送付する。
- ④ 銅像設置工事を着工する。 令和3年1月
- ⑤ 銅像除幕式、記念式典、祝賀会を令和3年4月17日に佐川町で開催する。
- ⑥ 銅像建立寄付金 15,090,300 円のうち、指定寄付金 10,500,000 円を超える 4,590,300 円は佐川町に寄贈し、銅像の維持管理費等に活用していただく。
- ⑦ 令和3年8月までに顕彰する会の残務処理を終え、顕彰する会を解散する。

第5号議案 令和2年度 収支予算（案）

収入の部

項 目	数 量	単 価	金 額	備 考
前年度繰越金	1		421,774	
合 計			421,774	

支出の部

項 目	数 量	単 価	金 額	備 考
印刷代				
式典案内状	2000		10,000	
記念パンフレット	3000		50,000	
記念講演会会場予約代	1		50,000	桜座を使用
ホームページ管理費 （2年分）	2	31,170	62,340	
会 議 費	3	15,000	45,000	記念式典等打合せ3回分
雑 費	1		204,434	封筒代、通信費等
小 計			421,774	
次年度繰越			0	
合 計			421,774	

第6号議案 令和2年度新役員(案)

- 会 長 岡村 甫 (高知工科大学 顧問)
副会長 磯部 雅彦 (高知工科大学 学長)
〃 堀見 和道 (佐川町長)
〃 吉村 文次 ((一社)高知県建設業協会 会長)
〃 右城 猛 (高知県橋梁会 会長)
理 事 高知県建設系教育協議会 会長 重山陽一郎
〃 (公社)高知県土木施工管理技士会 会長 田邊 聖
〃 (一社)高知県測量設計業協会 会長 西川和正
〃 高知県コンクリート製品工業組合 代表理事 高橋佳久
〃 (一社)日本海上起重技術協会四国支部長 尾崎憲祐
〃 (一社)四国クリエイト協会 理事長 工藤建夫
〃 (株)建設マネジメント四国 会長 藤森克泰
代表幹事 吉良 勉 (建設マネジメント四国)
幹 事 岡林宏二郎 (高知工業高等専門学校 教授)
〃 川上 勲夫 (高知県建設業協会 事務局長)
〃 佐々木 武 (高知県土木施工管理技士会 事務局長)
〃 久保田 明 (高知県測量設計業協会 理事)
〃 緒方 義孝 (日本海上起重技術協会 四国支部事務局)
〃 河野 一郎 (日本技術士会 四国本部)
〃 浦田 敏郎 (高知県土木部副部長)
〃 上林 正幸 (四国クリエイト協会 高知支所長)
〃 安田 省治 (建設マネジメント四国)
〃 芳川 英夫 (第一コンサルタンツ)
監 査 (〃) 濱田 陽治 (佐川町 教育長)
〃 (〃) 川崎 聡明 (高知県コンクリート製品工業組合 専務理事)
事務局長 (〃) 堀田 朋男 (第一コンサルタンツ)